

福田のまじり所いろいろ

いってみよう!



1 大歳神社
 子宝の神、または、農耕の神といわれています。
 例祭日は9月14日です。

2 イボとり地蔵
 雨降りや雨上がりの時お参りし、お地藏様にさわってたまった雨水をつけると、「イボ」がとれるといわれています。

3 光町尽三郎翁頌徳碑
 福木村村長として、終生尽くしてこられ、その功績を称え、大正元年八月に建立しました。

4 河内神社
 後谷地区の河内龜(こうちがめ)にあります。地域の水を司る神様とされています。
 例祭日は9月25日です。

5 西善寺
 本堂は、約300年前に建立され、改修を重ね現代に至っています。
 敷地内には、推定樹齢250年の椿、戦役記念碑があります。

6 若宮神社
 水の神を祭ると言われ、地域の水害防止祈願とされています。ここは昔の街道筋で、商売繁盛を祈願する人も多かったといわれています。
 例祭日は11月3日です。

7 福田観音堂
 地域を守る観音様とされています。
 昔、長円寺という真言宗の寺院が廃寺となり、このお寺の仏像を地元の有志により、ここに安置されました。

8 神田神社
 昔は、『神田山八幡宮』と呼ばれていました。祭りには、みこしの渡御が行われます。境内には、樹齢200年のモミの木があります。
 例祭日は、10月中旬頃です。

9 後谷古墳跡
 福田の西、神田山の丘陵から発掘されています。
 この古墳は、横穴式石室、後期古墳とされます。
 現代は、掘り出された石が雑然と積まれており、古墳の形状は消滅しています。

10 わくくり岩
 木ノ宗山麓の森にあります。
 弘法大師と機織りをしているおばあさんの伝説があります。
 公民館に、紙芝居がありますので見て下さい。

11 木ノ宗山銅鐸・銅剣・銅戈出土地
 1891年(明治24年)5月、福田の光町尽三郎氏が夢のおかげにより、木ノ宗山の中腹にある烏帽子岩の下から発見しました。
 これは、国の重要文化財に、出土地は県の史跡に指定されています。

12 おうばん 黄幡神社
 この神社は、戦勝祈願のために建てられたものと思われます。
 地元の人達は、黄幡をなまべて「おんばんさん」とも呼んでいます。
 例祭日は、中秋の名月の夜です。

13 なかずの池
 弘法大師と蛙の伝説があります。昔、妙法寺というお寺があり、その境内の池には蛙がたくさんいました。
 公民館に紙芝居がありますので見て下さい。

14 廃妙法寺跡
 現在は竹やぶや雑木林におおわれています。
 付近には、その五輪の塔の一部分や墓石がたくさん残されています。
 このあたりが妙法寺の持分ということで「寺分」(てらぶん)と呼ばれ、地名として今日まで続いています。

15 中池太郎一先生頌徳碑
 明治時代の後半に教員として活躍され、多大な功績を残されました。没後、教え子達が功績を称えて建立しました。

発行/平成14年1月
 (財)広島市ひとまちネットワーク広島市福田公民館
 広島市東区福田四丁目4152-1
 電話&FAX (082) 899-2901

